

SOLAN Dream Climbers

～夢に向かって一歩ずつ～

概数ってどんな時につかう？

算数について、西田先生からのお便りです。



毎日の生活の中で、「これはいくらくらいするかな？」「このお金で足りるだろうか？」と考えることはありませんか？例えば、スーパーでの買い物や外出時に予算を考えるときなど、大人も子どもも経験する場面ですね。

大人になると、このような計算が自然と身についており、「これくらいあれば足りるだろう」と感覚的に判断できるようになります。しかし、それは生活の中で何度も繰り返してきた経験によるものです。

そのため、子どもたちにも日常生活で役立つこのような感覚を養ってほしいと願い、算数の学習を通じて「がい数（概算）」の考え方を身に付けてもらいたいと考えています。がい数を活用することで、大まかな見通しを立てたり、計画を考えたりする力が育まれます。

さらに、「以上」「以下」「未満」といった言葉も、普段は何気なく使っていますが、算数では非常に重要な意味を持つ言葉です。例えば、有名なテーマパークのアトラクションには「〇〇cm以上」や「〇〇cm未満」といった身長制限が設定されていることがあります。これも、生活の中で算数が役立っている例の一つです。子どもたちにはこうした身近な場面と結びつけながら、正しく使い分けられるよう学びを深めてもらいたいと思います。

